

Dr. なおみ。保健室

⑰

「性感染症(STD)」は性的接触でうつる怖い病気ですが、皆さんどんなものを知っていますか。

「エイズ」は名前くらい聞いたことがあるって人もいますよね。最近は雑誌などにも書かれることが多くなったのが「クラミジア」。これも耳にしたことはあるかもしれませんが。

性感染症には、トリコモナスのように強いかゆみが出るけれど薬で治療すればすぐに治るものもあれば、淋病のように症状がほとんどなくて薬が効きにくいものもあります。

また、クラミジアのように、薬では菌自体は退治できるけれど後遺症で妊娠できなくなってしまう。

まうものや、ヒトパピローマウイルス(HPV)のように治療薬がない上に感染が続くと子宮頸が

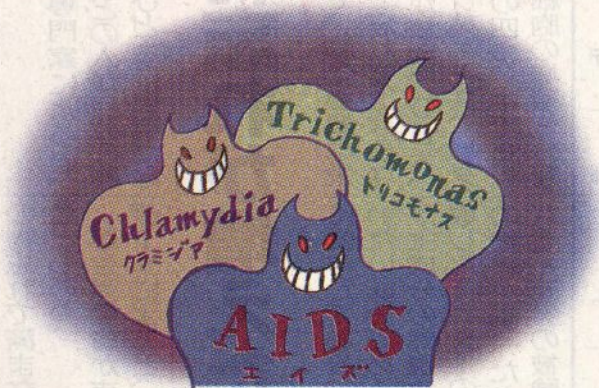
怖いぞ性感染症

んの原因になってしまうものまでいろいろです。最近の性感染症の特徴は、感染してもほとんど症状がでないという点。これって怖いことなんですよ。だって、気づかないうちに相手にうつしてしまうので、知らないうちに感染が多くの人に広がってしまうわけです。実

広がる一因乏しい症状

けは関係ない」「遊び人になる病気」って思ってるんですね、困ったことに。性感染症は「人ごと」ではありません。性交をする限り、誰もがかかる危険のある病気です。

性感染症を防ぐ方法はたった一つ、コンドームを初めから・正しく使うこと。もちろん、たくさんの人と次々に性的接触を持たないことは、さらに大事ですよ。そして、少しでも気になることがあったら、勇気を出して病院で検査を受けましょう。どうしても病院に行きづらいって人は、保健所で匿名で受けられる検査もありますから、相談してみるといいですよ。妊娠も性感染症も人ごとではありません。ちゃんと予防・早期発見で、安心＆安全なラブコミュニケーションを目指しましょう。(産婦人科医師・須藤なほみ)



イラスト・小林ちひろ

くらし

こづま

李の木

目を見張るような真白い花を咲かせる李すももの木。しかし、待てど暮らせど実一つつけない。そんな李に「今年こそ切る」と夫。そのたびに「もう一年待つて」と私。「来年は実をつけんさいよ。ほんまに切られるよ」と木に話し掛ける。

それでも実がなる気配は、いつこうになり。木は太るばかりだ。さすがの私もほかの木に植え替えようかなと思いはじめた。その思いを知ったか知らぬか、この春も見事に花を咲かせた。ある日、見上げると葉群に何かがある。目を凝らした。

江田島市

主婦 石崎 節子 71歳

「あつた。あるある」。二十個は確実にある。二十年にして初めての実りだ。「ありがとう、ありがとう」。何度も木に礼を言った。そして薄紅がさすのを待つて、カラスに取られないうちに早めにもいだ。

昨年の秋、あれほど「切る切る」と言っていた夫が、実を見ることがもなく、天国へ旅立った。私は、甘い香りがする李を仏前に供え、報告した。

「お父さん、こんなに綺麗な実がなつたんよ」

もしかしたら、いつまでも待つ私のために、夫が李の木にエールを送ってくれたのかも…。

「お父さん、ありがとう」。空に向かって大声を上げた。